

未来そうぞう科学習指導案

第1学年 南野 陽子

1. B領域「まほうそうぞう学校 ～ライトでへんしん!～」

2. 研究主題

未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

(1) 単元について

第一学年では、未来そうぞう科において、友だちや異学年（保護者や6年生、幼稚園児）でコミュニケーションが活発になるような場を設定し、活動を行ってきた。二年生との運動会での表現運動は特に達成感が強く、現在も身体表現をすることへの意欲を持ち続けている。そこで、本単元では、これまでのコミュニケーションや身体表現をさらに活かせるように、舞台照明用ライトを投入する。子どもたち自身で、あそびや表現方法を考えて楽しむことを通し、学級の中での仲間意識を高めることをねらいとする。

幼稚園教育と関連してごっこ・つくるなどの「あそび」を引き継ぎ、「偶然～に見える」ことや「これを～ということに見立てる」ことなど、友だちとかかわって遊びや表現を作り出すことで、イメージ・クリエイトの往還を本単元でさらに高めたい。ライトとスクリーンを置く空間を共有することで、一人ではなくペアやグループ、クラスのみなどと関わりあうことが可能となると考える。また単元の過程で教科横断的に、図工や音楽とかかわって舞台背景や曲を作り、楽しんで豊かに表現ができるようにする。

ライトによる「やってみたい」、「遊んでみたい」という初期の動機から、「友だちと協力したい」、「誰かに見てもらって楽しい気分になってもらいたい」といった、他者を想定した目的意識へ導き、発見したいくつかの表現方法から選択し、どのように組み合わせるか、多様性のある構成を子どもたち自身で工夫して、最終的に発表会を行いたい。こうした単元構成の中で、未来タイムを設け、写真や動画で活動を振り返り、「マイパワーアップポイント」を手立てとして、仲間意識を含めて価値付けていく。「マイパワーアップポイント」は、子どもたち自身で見ついたり、教師から提示したりしていくことで、学級の中での仲間意識を効果的に高める手立てとなると考える。

(2) 単元の目標

【そうぞう的实践力】	
クラスの友だちとライトで遊びや表現に挑戦する中で、人と関わることへの楽しさを見つけることができる。	
【主体的実践力】	【協働的实践力】
イメージを広げ、自分から楽しんで参加することができる。	友だちのアイデアも受け入れて仲良く取り組むことができる。

(3) そうぞう的实践力を高める手立て

- ① 表現活動を促進する手立てとしてのライトによって、イメージ・クリエイトの往還を刺激し、そうぞう的实践力を発揮することにつなげることができる。
- ② 自己評価の手立てとしての未来タイムとマイパワーアップポイントによって、仲間意識の意味や価値を一年生なりに意識して高めることができる。

3. 指導計画（全 15 時間 本時 9 時間目）

学習活動・子どもの意識 問題意識	探究の 過程	イメージカ 考えてみる	クリエイトカ やってみる	レジリエンス 最後までやりぬく
<p>1、やってみたいことをメージする。【1時間】</p> <p>こんなに明るいライトをみるのは初めてだな。大きな影ができるから、ポーズとかクイズで遊びたい。影クイズの準備もしてこよう。</p> <p>運動会で「へんしん」（表現運動）をしたのは楽しかったな。幼稚園でも、影で遊んだことがあるよ。</p> <p>今度はライトでどんな「へんしん」ができるかな。やってみたい！</p> <p>2、影で遊んでみる。【3時間】</p> <p>影クイズはすごく面白い。頭の中であれかなあ、これかなあってたくさん考えちゃう。</p> <p>体を使って、孔雀みたいに見えた。ライトに近づいたら影が大きくなるんだね！</p> <p>みんなには違ったふうに見えることもあるんだなあ。</p> <p>今度は、何かものを使って影を作ってみたいな。面白い鬼ごっこも発明できるかな。</p> <p>みんなでやるともっとおもしろいものができそうだ。みんなで楽しい何かがつくれなかな。</p> <p>3、みんなでつくっていくショーについて考える。【2時間】</p> <p>今までみつけたことを活かして、みんなでショーがやりたいな。どんな役割があるかな。どの役割をやってみようかな。</p> <p>どうやったらみんなで、いいショーをつくれるかな。きょう力するってどうやったらいいのかな。</p>	<p>なりたい</p> <p>みつける</p> <p>未来タイム</p>	<p>★過去の生活経験や幼稚園・保育園での経験を思い出して、考えている。 ☆ワークシート</p> <p>★できた光や影が何かに見えてくるかを楽しんでいる。 ☆発言・ワークシート</p> <p>★友だちのつくる影やポーズを見て、何に見えるかを考えている。 ☆発言・ワークシート</p> <p>★友だちと楽しむために、役割分担し、どんなことが必要かを計画する。 ☆発言・パワーアップカード</p>	<p>★何かになりきること（姿勢）を楽しんでいる。 ☆活動</p> <p>★光や影に触れて、影ができていくことを楽しんでいる。 ☆活動</p> <p>★友だちのつくる影やポーズと一緒にやってみて楽しんでいる。 ☆活動</p>	<p>★友だちの影やポーズの良いところを見つけようとしている。 ☆活動</p>

4, 2グループに分かれてショーを作ってみる。【2時間】
 グループの中での役割 (かんとく・こえ, からだ, がっき, 大どうぐ, 小どうぐ)

かんとく・こえ どんなお話が
できそうかな。

からだ こんな動きやポーズ
がしたいな。

がっき みんなはどんな音や
音楽が欲しいかな。

大どうぐ 段ボールに穴を空け
てセロファンを貼ってみたい。

小どうぐ 懐中電灯で光の飾りを作ることもできるね。

5, 中間発表会をやってお互いのショーのよさや工夫を見つめる。【1時間本時】

相手チームのお話がよくわかったね。かんとくの人たちがみんなとよく話し合ったのかな。小どうぐさんの工夫も真似してみたいな。

あいてのチームはどうやってショーを作ってきたのかな。いいきょう力のしかたを知りたいな。

6, ショーをさらによくするにはどうするか考える。【1時間】

私たちは、まだまだバラバラだったら、友だちの話を聞いて、もっと感動してもらえるショーにしたいな。

あいてのチームのよさや工夫が見つけれられたから、自分たちのチームでもやってみて、もっとよくしたいな。

7, ショー作りを進め、ショーを見合って、よりよく改善していく。【4時間】

ショーがレベルアップしたと思う！相手のチームからたくさん拍手がもらえるように頑張りたい。

いいショーになってきたのは、きょう力するってことが分かってきたからかな。このままきょう力してやり切りたい。

9, クラスでショーの本番の発表会をする。【1時間】

やり切った！「へんしん」もきょう力も前よりもっとできるようになったね。

もっと「へんしん」して、他の人にも見てもらいたいな。
 ○○に感動してもらいたい！

まねる

みつめる

未来タイム

まねる



みつめる

未来タイム

未来タイム



なってみせる

★相手のチームのショーを、イメージを広げて楽しんで見る。
 ☆発言・パワーアップカード

★友だちと協力するために、どんなことが必要かを交流し、改善を目指して再び計画する。
 ☆発言・パワーアップカード

★自分や友だちのアイデアを出し合って、やってみている。
 ☆活動

★グループで、役割分担をして影を作っている。
 ☆様子・パワーアップカード

★相手チームや自分のチームの協力していた姿を出し合って、比較し、「協力する」ことについて、自分なりに考える。
 ☆発言・パワーアップカード

★自分で考えた「協力」を意識して、自分や友だちのアイデアを出し合って、改善できるようやってみている。
 ☆活動

☆クラスでショーの本番の発表をし、やり抜くことで、クラス外に向けても発表(発信)したい意欲が芽生える。
 ☆発言・パワーアップカード